



単純疱疹(単純ヘルペス)

“風邪の華”とも言われ、一番多いのが口の周りです。小さい水ぶくれが多数集まります。

1. **原因**：単純ヒトヘルペスウイルスの感染症です。2つタイプがあります。一つは単純ヒトヘルペスウイルス1型で口のまわりに主に出ます。もう一つは単純ヒトヘルペスウイルス2型で性行為で感染します。

2. **症状**：初めにピリピリ感が出ます → 数日すると水ぶくれが出ます → 数日でカサブタや乾いてきます

小さいお子さんが生まれて初めて単純疱疹になった場合、歯肉口内炎を起こし、高熱、咽頭痛などの症状を伴うことがあります。

3. 治療

(ア)抗ウイルス剤内服

(イ)患部が触れないように軟膏を塗りガーゼで保護します

(ウ)歯肉口内炎の場合、全身の状態が悪くなる(衰弱する)ことがあります。小児科と皮膚科のある病院を受診していただきます。

4. 注意する事：

(ア)感染症であるため患部を触らないようにします。

5. **再発について**：回帰(かいき)感染と言い、再発を繰り返すことが多い感染症です。一度感染後、全身のリンパ節の中にウイルスが潜んでいて、風邪、ストレス、疲労、日光、性行為、月経などがきっかけとなり症状を繰り返すことがあります。再発防止は困難なことが多いですが、抗ウイルス剤を少ない量で続けて飲むという方法もあります。

6. **カポジ水痘様発疹症**：特にアトピー性皮膚炎のあるお子さんが、高熱と共に水ぶくれが多数全身に出ます。この原因は、単純ヒトヘルペスウイルス(主に1型)です。高熱を伴うため脱水等の皮膚以外の症状を伴うことがあります。